



土壤病害 センチュウ類 一年生雑草の 防除に

ディ・トラペックス®
油剤

製品情報はこちら



- 土壤病害、センチュウ類、一年生雑草に優れた効果を発揮します。
- 刺激臭が比較的少なく、使いやすい薬剤です。
- 周辺作物に対して影響の少ない土壤くん蒸剤です。



褐色腐敗病



ネコブセンチュウ



炭疽病



萎黄病



ネグサレセンチュウ



萎凋病



立枯病



一年生雑草



根こぶ病



半身萎凋病

一般的な使用方法

畠の準備

ていねいに耕起・整地し、前作の根などを除去する。

処理

30cm間隔のチドリ状に、深さ12~15cmに処理し、直ちに覆土・鎮圧する。



↓ 地温15℃以上のとき

ガス抜き

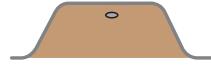
処理した土壤に、未消毒の土壤が混ざらないよう注意しながら、ロータリーなどでていねいにガス抜きをする。



ガス抜き不十分のとき

は種・定植

ガスが十分抜けたことを確かめてからは種または定植する。



7日以上

14日以上

ディ・トラペックス®油剤

農林水産省登録 第13488号

有効成分: メチルイソチオシアネート 20.0% 殺虫剤分類 8F

D-D(1,3-ジクロロプロペン) 40.0% 殺虫剤分類 8A

毒 性: 効物

■適用病害虫・雑草および使用方法

2023年9月現在の登録内容

作物名	適用病害虫・雑草名	10アール 当たり 使用量(l)	使用時期	使用回数*
しょうが	センチュウ類	20~30	は種または植付の 21日前まで	
	根茎腐敗病、立枯病、一年生雑草	30~40		
ごぼう	センチュウ類	20~30	は種の21日前まで	
	萎凋病、一年生雑草	30~40		
ねぎ わけけ あさつき	センチュウ類	20~30	は種または植付の 14日前まで	
	根腐萎凋病	40		
	萎凋病、黒腐菌核病、白絹病、 一年生雑草	30~40		
たまねぎ	センチュウ類	20~30	は種または植付の 21日前まで	
	黒腐菌核病	30		
	乾腐病、一年生雑草	30~40		
ふき	センチュウ類	20~30	植付の30日前まで	
	半身萎凋病、一年生雑草	30		
トマト ミニトマト	センチュウ類	20~30	は種または植付の 21日前まで	
	半身萎凋病	30		
	苗立枯病(リゾクニア菌)	40		
だいこん	センチュウ類	20~30	は種または植付の 21日前まで(※)	
	根こぶ病、パーティシリウム黒点病	30		
	萎黄病、一年生雑草	30~40		
すいか きゅうり	センチュウ類	20~30	は種または植付の 21日前まで	
	つる割病、一年生雑草	30~40		
メロン	センチュウ類	20~30	は種または植付の 30日前まで	
	つる割病、一年生雑草	30~40		
ほうれんそう	センチュウ類	20~30	は種の30日前まで	
	パーティシリウム萎凋病	30		
	萎凋病、一年生雑草	30~40		
かぶ	苗立枯病(ビシウム菌)	40	は種の21日前まで	
	センチュウ類	20~30		
	根こぶ病、パーティシリウム黒点病	30		
らっきょう	センチュウ類	20~30	は種または植付の 21日前まで	
	黒腐菌核病、根腐病、乾腐病、 一年生雑草	30~40		
	乾腐病、紅色根腐病、黒腐菌核病、 一年生雑草	30		
にんにく	センチュウ類	20~30	は種または植付の 30日前まで	
	乾腐病、一年生雑草	30		
	センチュウ類	20~30		
キャベツ	センチュウ類	20~30	は種または植付の 21日前まで	
	パーティシリウム萎凋病	40		
	萎黄病、根こぶ病、菌核病、 一年生雑草	30~40		

*印は収穫物への残留回避のため、本剤およびそれとの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示します。

■注意事項



●土壤中にガスを十分拡散させるため、耕起、整地は丁寧に行って下さい。

●ミツバチの巣箱周辺での使用はさせて下さい。

●育生中の作物には葉害があるので使用しないで下さい。

●花き類・観葉植物に使用する場合、本剤はフザリウム菌による病害に対し効果があり、同じ病名であっても原菌が異なるものもあるので注意して下さい。

●作付けは葉害をさけるためガスが抜けたことを十分確かめてから行って下さい。地温が10°C以下の時、重粘土質で通気の悪い時、降雨など土壌水分が多い時はガスが抜けにくいので、ガス抜きを丁寧に行い、注入してから植付けまでの期間をさらに約1週間長くして下さい。特に茶のセンチュウ類防除の場合は低温時の処理となるので、14日にガス抜きを行い、さらに14日以上おいてから植え付けて下さい。

●だいこんは本剤のガスに対する感受性が強く、岐根等の葉害を生じやすいので、ガス抜きは完全に行なうように十分注意して下さい。使用量が多い場合には2回以上ガス抜きをするなどしてできるだけ深く切り返しを行って下さい。粘土質の割合が低い砂質土(砂土、壤質砂土)では本来のガスは抜けやすく、ガス抜き7日後の作付けが可能だが、粘土質の割合が砂質土よりも高い砂壤土以上の土性においてはガス抜きからは種までの期間を長く(ガス抜きが複数回の場合は初回から14日以上)とるようにして下さい。

●地温が低いと効果が劣るので、地温15°C以上の時になるとよく使用して下さい。やむを得ず10°C以下で使用する場合には、ガス抜きまでの期間を長く(14日以上)し、ガス抜きを丁寧にして下さい。

●本剤で処理後のくん蒸中の土表面は、ボリエチレン、ビニール、漏れむし等で被覆するか、または1m当たり5~10cmの水をまいて水封するより効果的です。

●本剤で処理した苗床、圃場に消毒されていない土壌を混入しないよう十分注意して下さい。

●処理前にカルキ性肥料、特に石灰などを施用すると葉害を起こすおそれがあるので、肥料はガス抜き後に施用して下さい。

●茶葉を収穫する茶樹木本には使用しないで下さい。また、茶樹幼木に使用する場合は、翌年に茶葉を収穫しないで下さい。

●本剤は使用直前に蓋をあけ、使用量に合わせ秤量し、使いきって下さい。

●本剤は水産動物に影響を及ぼすので、注入器などの洗浄液は河川に流さないで下さい。また、空容器等は水産動物に影響を与えないよう適切に処理して下さい。

●火気には近づけないで下さい。

●使用後注入器などは鏡を生じやすいので、灯油、石油等でよく洗って下さい。

●本剤の使用に当っては圃場の立地条件、使用量、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

●適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に葉害の有無を十分確認してから使用して下さい。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

●使用前にはラベルをよく読んで下さい。 ●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。

●医薬用外劇物なので、取扱いには十分注意して下さい。誤って飲み込んだ場合には吐かせないで、直ちに医師の手当を受けさせて下さい。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けて下さい。

●本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないように注意して下さい。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けて下さい。

●本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意して下さい。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落として下さい。

●本剤の投薬作業の際は吸収缶(活性炭入り)付き防護マスク、不浸透性手袋、保護眼鏡、長ズボン・長袖の作業衣、ゴム長靴などを着用して下さい。また、薬液が皮膚に付着したり、揮散したガスを吸い込んだり、薬液やガスが眼に入ったりしないよう注意して下さい。ガス抜き作業の際にも同様の防護マスク、保護眼鏡を着用して下さい。

●作業に際してはガスに曝露しないよう風向き等をも十分に考慮して下さい。

●作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをし、洗眼するとともに衣服を交換して下さい。また、作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯して下さい。

●かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意して下さい。

●作業中およびくん蒸中の圃場へ小児等作業に関係のないものや家畜、家禽が立ち入らないよう十分に注意して下さい。

●住宅付近での使用に当っては、ガスによる危害の発生防止に十分配慮し、特に住宅に隣接する圃場では使用しないで下さい。

●水産動植物(魚類)に強い影響を及ぼすおそれがあるので、河川、湖沼および海域等に飛散、流入しないよう注意して使用して下さい。養殖池周辺での使用はさけて下さい。

●水産動植物(甲殻類、藻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用して下さい。

●器具および容器の洗浄水は、河川等に流さないで下さい。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理して下さい。

●危険物第4類第2石油類に属するので、火気には十分注意して下さい。

●火気をさげ、種子、苗、肥料および他の農薬などと隔離し、直射日光が当らない鍵のかかるなるべく低温で乾燥した場所に密栓して保管して下さい。

●居住場所または隣接する屋内には保管しないで下さい。

●漏出時は、保護具を着用しガスを吸収して下さい。

●火災時は、適切な保護具を着用し消火剤等で消火に努めて下さい。

●移送取扱いは、丁寧に行って下さい。

バイエル クロップサイエンス株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-5 〒100-8262 <https://cropscience.bayer.jp/>

お客様相談室 ☎ 0120-575-078 9:00~12:00, 13:00~17:00
土日祝日および会社休日を除く

F-2038 23.09.NY